

## ◇ポスターセッション 11:30~12:20

1	【若手自主サークル】異校種による実践研究を通じた教師力向上研究 池田 柚衣/清水西小学校 長谷川 侑来/三国中学校 笠原 千裕/三国南小学校
2	現状打破～福井の発展を願って～ 県外からの派遣研修者(茨城県2名・埼玉県2名・長野県1名・滋賀県1名・和歌山県2名・高知県4名)
3	英語ディベートを授業に取り入れるにはどうしたらよいか？ 三仙 真也/藤島高校
4	つなげよう未来へー音楽を生涯の友にー ～高等学校芸術科音楽での取り組み～ 稗田 浩子/福井農林高校 北島 恵美子/教育総合研究所
5	Future We Want ～国際協働を通して、未来につなぐ自分たちの学びを語る子どもたち～ 島田 裕美子/福井大学教育学部附属義務教育学校
6	未来社会を創る資質・能力を培う「社会創生プロジェクト」～9カ年のプロジェクト学習カリキュラムの開発研究～ 五十嵐 洋行/福井大学教育学部附属義務教育学校
7	国語科における言語技術の習得、論理的表現力等の育成に関する研究 飯田 吉則/教育総合研究所
8	教師と児童とのやりとりを意識した言語活動～英語絵本を活用して～ 小竹 紀子/教育総合研究所
9	中学校英語の語彙指導に関する協働研究 栗原 忍/教育総合研究所
10	特別の教科「道徳」の指導と評価の方法に関する研究 田中 匡/教育総合研究所
11	RST（リーディングスキルテスト）の受検を通じた基礎的な読む力の研究 野尻 友佳子/教育総合研究所
12	教育相談における緊急支援マニュアルについて 田中 悦博/教育総合研究所
13	学校サポートプログラム活用事例(中学校)～中学校における自尊感情を育むピア・サポートの実践研究～ 坪川 美穂/教育総合研究所
14	学校サポートプログラム活用事例(小学校)～養護教諭と協働し、児童の自己肯定感を育むソーシャルスキルの実践研究～ 甚佐 奈央/教育総合研究所

## ◇講演会 15:00～16:20

### 新学習指導要領で求められる資質・能力の育成

東京大学高大接続研究開発センター 高大連携推進部門 教授 白水 始 氏

## ◇参加申込

別紙 参加申込書にご記入の上、平成31年1月31日（木）までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

**FAX：0776-58-2163**

**E-mail：sentanken@fec.fukui-c.ed.jp**

福井県教育総合研究所 先端教育研究センター  
TEL：0776-58-2162

※参加申込書は、HPからもダウンロード出来ます。



# ー未来へつなごう 福井の教育ー

変える勇気 変わる未来

平成30年度  
第33回 福井県教育総合研究所  
研究発表会

平成31年2月15日(金)  
10:30～16:20 (受付10:00～)

会場

福井県教育総合研究所・福井県自治研修所

10:00	10:30	11:20	11:30	12:20	13:15	13:50	14:00	14:50	15:00	16:20
受付	研究発表Ⅰ	ポスター セッション	昼食 休憩	案内 教育博物館	研究発表Ⅱ					講演会

## ◇研究発表Ⅰ 10:30～11:20

①ア	【若手自主サークル】中高連携社会科授業研究 山本 祐輝／鯖江中学校 山崎 淳史／鯖江中学校 行壽 浩司／武生第六中学校
社会	本自主研究サークルの目的は、学習指導要領改訂に向けて、社会科特有の資料活用能力を育み、さらに事実認識に留まらず、「議論」や「構想」を通して、価値認識ができる力の育成を目指した社会科授業を開発することです。異なる学校の社会科教員が集まり、お互いの日々の実践について語りながら、研究を進めています。その研究の成果を発表します。
①イ	Q-U検査を活用した不登校支援 ～特別支援学校における小集団クラスでの利用～ 福田 洋香／奥越特別支援学校
Q-U活用 不応対応	不登校の「きっかけ」の多くは学校にあります。近年、不登校を経験した生徒が増えており再不登校の防止は急務です。そこでQ-U検査結果を活用し、効果的な集団ゲームや活動を取り入れた不応改善への支援を行いました。その実践の経緯、生徒の変容について報告します。
①ウ	福井大学教育学部附属義務教育学校の新たな挑戦 ～全教科全領域で取り組む9カ年の協働探究カリキュラム開発のための試み～ 木下 慶之／福井大学教育学部附属義務教育学校
協働探究	本校では、小中9カ年一貫の協働探究カリキュラムの開発や、「主題-探究-表現型」の授業づくりなどの教育実践研究に取り組んでいます。全教科において、9カ年かけてめざす教科の本質をもとに、どのような資質・能力をいかに培うべきかを研究しています。多様な方々からご意見やご助言をいただくことが、質の高い、社会に開かれたカリキュラムデザインの実現を可能にするものと考えています。
①エ	小学校、中学校の授業づくりを支援する訪問研修の充実 中村 久美、谷川 美紀、齊藤 慶司／教育総合研究所
学力向上	学力向上グループでは、長期休業中や放課後の時間を活用した訪問研修を行っています。学校や市町教育委員会の要請によるこの研修は、近年、学力調査の結果分析や課題克服に向けた授業改善のみならず、調査問題を活用した授業づくりや学力向上を図る校内体制づくりなど、多様な要望をいただくようになってきました。こうした研修の現状や課題、今後の展望について、本年度の取り組みを紹介しながら発表します。
①オ	小中高における遠隔配信を活用した理科教育の充実 吉村 公彦、ハウカ 佐由里／教育総合研究所
理科	サイエンスラボから県内の小・中・高校に向けて行っている実験配信について、科学的な見方・考え方を磨くため、配信する実験の見せ方を工夫したり、メニューを新規開発したりするなど、本年度の取り組みについて報告します。また、効果的な学習支援ツールとしての実験配信の可能性について、現状と課題について発表します。
①カ	教育相談における「チーム学校」について ～外部人材との協働をどう進めていけばよいか～ 澤田 聡恵／教育総合研究所
教育相談	昨年度から教育総合研究所教育相談センターには、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士が配属され、教育相談を担当する教員と相談活動を行っています。この協働を通して、教育相談活動における「チーム学校」を実現するために必要なことが整理されてきていますが、そのような内容について発表します。
①キ	小学校における学校マネジメント マネジメント研修受講者3人 小島 真弓／教育総合研究所
マネジメント	「チーム学校」「社会に開かれた教育課程」の実現のために、今学校に求められる「学校組織マネジメント」と「カリキュラム・マネジメント」。マネジメントの視点で学校の実態分析、具体的実践プランの立案、そして、各学校でのプランの実行と、現在取り組んでいる実践について発表し、実践型研修の有効性を提案します。

## ◇教育博物館案内 13:15～13:50

福井の教育の歴史と、現在の代表的な教育実践を紹介します

## ◇研究発表Ⅱ 14:00～14:50

②ア	英語ディベートを授業に取り入れるにはどうしたらよいか？ 三仙 真也／藤島高校
英語	日々変わる英語教育。メソッドだけが先走ることも少なくありません。それがかえって自分のやり方への固執を招くことも。未来の生徒のため「育てたい力」を明確にして、英語ディベートを授業にどう取り入れたら効果的かを、これまでの実践から全てお話しします。
②イ	【若手自主サークル】専門学科の横断的学習の在り方研究 ～経済同友会との交流を通して～ 大田 光宣／福井農林高校 田中 誠悟／若狭東高校 南出 龍哉／敦賀高校 錦織 歩／奥越明成高校
社会	互いの専門学科の取り組みについて理解を深めることを目的とした、農業科、商業科、工業科、福祉科の初任者のグループです。今年度、経済同友会と交流し、福井の教育について意見交換をおこない、地域産業との連携について取り組んできました。我々自身の教育観の変化を初めとして、経済同友会との関わりで得たことを発表します。
②ウ	授業改善プロジェクトチームが生み出した価値 田中 宏明、小原 崇裕、辻崎 千尋／武生高校授業改善プロジェクトチーム
プロジェクト チーム	来るべき大学入学共通テストや新学習指導要領に向けて、平成29年度2月よりアクティブ・ラーニングの導入、ICT機器の活用、教科横断型の授業の研究にチームで取り組んだ。高校でのこのような取り組みは珍しく、まさに時代とともに変化する高等学校における授業実践報告である。
②エ	地方創生を担う人材をはぐくむ教育の研究 小林 直彦／丸岡高校 小林 奈弥、二丹田 雄一／勝山高校 吉田 英史／鯖江高校 中森 雅巳、佐野 明彦／教育総合研究所
PBL	今年度より実践校6校と教育総合研究所が協働して、課題解決型学習モデル開発に取り組んでいます。新規実践校として課題解決型学習（PBL）を推進している丸岡高等学校、勝山高等学校、鯖江高等学校の生徒たちが、どのように地域課題の解決に取り組み、地方創生をめざしているかを中心に実践報告します。
②オ	中高の円滑な接続を実現する授業実践の研究 長谷川 侑来／三国中学校 藤井 織江／足羽高校 藤岡 千尋／教育総合研究所
中高連携	指導の系統性に留意した中高の円滑な接続を目指し、中学校教員と高校教員による授業公開、および情報交換会を行いました。中高の国語の授業実践を中心に、成果と課題について発表します。
②カ	高校数学における授業改善の取り組み ～ICTを活用した授業実践～ 野村 幸史／武生高校 谷山 潤也／教育総合研究所
数学	県立高校の全教室にプロジェクターが導入された(*)ことを踏まえ、前半は授業づくり研究グループにおけるプロジェクターを活用した授業事例について報告を行います。後半は、予習型授業研究グループの授業実践（武生高校）について報告を行います。 (*) H30年度からH31年度にわたって導入予定
②キ	中学校における学校マネジメント マネジメント研修受講者3人 森田 史生／教育総合研究所
マネジメント	「チーム学校」「社会に開かれた教育課程」の実現のために、今学校に求められる「学校組織マネジメント」と「カリキュラム・マネジメント」。マネジメントの視点で学校の実態分析、具体的実践プランの立案、そして、各学校でのプランの実行と、現在取り組んでいる実践について発表し、実践型研修の有効性を提案します。
②ク	高校、特別支援学校における学校マネジメント マネジメント研修受講者3人 伊藤 裕貴／教育総合研究所
マネジメント	「チーム学校」「社会に開かれた教育課程」の実現のために、今学校に求められる「学校組織マネジメント」と「カリキュラム・マネジメント」。マネジメントの視点で学校の実態分析、具体的実践プランの立案、そして、各学校でのプランの実行と、現在取り組んでいる実践について発表し、実践型研修の有効性を提案します。